

国際緑化に関する企業意識 調査結果

平成10年3月

(財)国際緑化推進センター

国際緑化に関する企業意識調査報告

(財) 国際緑化推進センター

I 調査のフレーム

1. 調査目的

この調査は、地球環境保全に対して重要な役割を担っている日本の主要企業が、地球環境問題とくに森林の役割、森林づくりにどのような意識を持っているかを調査すると同時に、企業参加の国際緑化の可能性を探る等を目的として行ったものである。

2. 調査対象

経団連参加の企業で環境対策部署を有する企業約 500 社の中から、紙・パルプ、住宅産業、木材関連業を除き、ランダムに選んだ 103 社に対して実施した。

3. 調査方法

メール方式により、アンケート調査票を調査対象企業へ送付して行った。実施に際しては、担当部署、担当者を電話により特定作業を行った。

4. 調査時期

平成 9 年 9 月 25 日に発送し、11 月 25 日までに回答のあった 55 件について集計したものである。

5 その他

調査票の発送、受付け、暫定とりまとめ等の事務は国際緑化推進センターの指示のもと(株)龍源社が行った。

II 回答企業の概要

1. 経団連加盟の日本の基盤産業を構成する企業といえる。資本金は、1 億円以上である。

2. 回答企業の業種は次のように分類できる。

業種	回答数	発送数	業種	回答数	発送数
ガス事業	2	2	製薬	2	2
管工事	1	1	繊維	1	4
楽器製造業	1	1	通信	1	2
ガラス工業	1	1	鉄鋼業	3	3
食品	3	4	電力事業	2	4
運輸業	1	3	電子・電機	10	21
化学工業	5	9	非鉄金属	3	4
機械製造業	3	5	石油	0	6
金融・保険	1	5	小売業	0	1
建設業	7	10	航空産業	0	1
自動車工業	2	2	水産業	0	1
商社	1	1	サービス業	0	1
情報サービス	3	3	不動産	0	2
精密機械	2	3	鉱業	0	1
			合計	55	103

送付先企業は 103 社 回答企業は合計 55 社

3. 海外進出の状況

回答 55 社の海外進出の状況は、次の通りで、ガス、電気供給事業のように国内のみの基幹産業もあり、海外に進出していない企業が 5 社、最大で 42 カ国に進出している企業もある。下記の表は、それを分類したものである。

0	5
1～5	18
6～10	11
11～20	10
21～	4
多数	2
無回答	5

4. 本社所在

所在地は、次のとおりである。回答 55 社の本社所在地は、東京都がその 6 割を超える。

東京都	32
大阪府	10
愛知県	1
京都府	2
神奈川県	2
静岡県	2
千葉県	2
福岡県	2
埼玉県	1
富山県	1

5. 環境対応部署と設立年

調査対象企業の環境対応部署は、「環境部」「環境エネルギー部」「環境安全室」「地球環境室」などで、その名称はさまざまである。7 社については、具体的な記入がなかった。

1960年代	1	1990	5	1995	2
1970～74	7	1991	6	1996	1
1975～79	5	1992	5	1997	1
1980～84	0	1993	7	不明	1
1985～89	3	1994	1	無記入	6

6. 環境対応部署設立の動機と活動内容

環境対応部署の設立動機及び活動内容は次のようなものである。

<設立動機>

55 社中 33 社が回答。

- ・ 1992 年 10 月に通産省から配布された「環境に関するボランタリープランの策定に係わる協力要請について」を端緒とする活動の充実化のため
- ・ RC 情報の収集とその推進
- ・ フロン全廃活動
- ・ フロン対策等を推進するため
- ・ 環境・安全衛生リスクの低減
- ・ 環境アセスメントおよびモニタリング業務の増加
- ・ 環境関係組織強化のため
- ・ 環境保全への取り組み
- ・ 環境保全への取組をより効果的に進めるため
- ・ 環境保全活動の強化
- ・ 環境保全活動の推進
- ・ 環境保全活動は企業の社会的責任だと考えている
- ・ 環境問題に対して、全社を挙げて計画的及び継続的な活動を発展するため
- ・ 環境問題の広域化
- ・ 環境問題への取り組み強化
- ・ 環境問題を経営問題ととらえる
- ・ 企業として環境問題に対する方針策定、活動推進を図るため
- ・ 建設廃棄物適正処理
- ・ 公害対策として
- ・ 公害防止、ボランタリープラン推進と環境マネジメント構築
- ・ 公害防止と環境貢献
- ・ 合併を契機に体制を強化
- ・ 社会的要請
- ・ 森林資源の保護、育成、有効活用を推進するため
- ・ 全社的公害対策
- ・ 全社的な環境保全体制の構築
- ・ 全社的に環境問題を扱うため
- ・ 全体的な環境マネージメントの推進
- ・ 地球環境サミットの開催
- ・ 地球環境時代に対処して
- ・ 地球環境保護推進委員会を設置。地球環境問題がグローバルに対処すべき最優先課題と認識
- ・ 地球環境問題の高まりによる

<活動内容>

無記入 3 を除き、52 社が回答した。

- ・ 再生しやすい情報誌づくり・情報誌のリサイクル
- ・ 社内のリサイクル運動・環境 NGO

への支援

- ・EMS の構築と継続改善、製品アセスメント
- ・ISO14001 の認証取得活動
- ・RC の推進
- ・フロン問題、温暖化、リサイクル
- ・ボランタリープラン推進と ISO14001 認証取得推進
- ・安全衛生面及び公害対策。
- ・化学品取扱いを含む、環境・安全全般
- ・環境・安全・健康・化学品安全の全分野についての企画、立案、チェック等の管理全般
- ・環境・安全監査
- ・環境アセスメント業務、環境保全に関する業務
- ・環境に関する統括的業務
- ・環境改善に関する取り組みと対外的窓口業務
- ・環境管理全般
- ・環境関係の企画立案
- ・環境機器の製造と販売
- ・環境技術・産業のインキュベーション
- ・環境自主行動計画の達成推進 ISO14001 システム構築及びレベルアップ推進等
- ・環境中期計画に基づいた省エネ、廃棄物削減その他取組推進
- ・環境内部監査、環境報告書の作成、情報開示
- ・環境保全活動の推進、ISO14001 の構築運用他
- ・環境保全技術、地球環境情報。
- ・環境報告を発行し、自主的目標を社外に公表、その達成の為に環境対策を推進している。
- ・環境目的計画、立案、啓発活動
- ・環境問題全般
- ・建設業に於ける公害全般
- ・公害防止、環境保全
- ・公害防止、作業環境改善と地球環境への改善と貢献。
- ・公害防止、緑化、地球環境保全 ISO-14001（環境管理システム）他
- ・公害防止に関する業務
- ・国内工場の環境・安全分野の総括。
- ・産業廃棄物適正処理及び副産物リサイクル推進の為に教宣活動
- ・省資源、リサイクルの推進・社内外への情報提供、啓発活動 環境教育支援等の対外支援
- ・事業活動に関する環境管理
- ・事業所環境管理、環境管理システムの構築、PR 活動。（省エネ・リサイクル

- 等の技術移転・社員の環境教育・関連情報の収集と発信)
- ・自主行動計画に基づく環境保全活動
 - ・社内、外の環境安全、購入原料及び製品の品質、安全、対策、対応
 - ・省エネ、廃棄物削減、紙資源有効活用、塩素系溶剤全廃、商品のエコロジー化、ISO14001 取得等
 - ・省エネルギー、廃棄物の削減、ペーパーレス化の取組等
 - ・情報の収集・分析・企画・社内活動への展開
 - ・全社の環境に関する取りまとめ、環境に関する対外的な窓口業務
 - ・全社の環境行動の施策、行動内容まとめ、その他
 - ・全社の環境保護活動の統括
 - ・全社環境管理体制の整備・推進・監査
 - ・全社的な、環境保全活動推進
 - ・地球環境問題全般
 - ・調査研究業務、環境アセス等
 - ・当社の地球環境活動の企画・推進
 - ・廃棄物の削減、省エネ
 - ・容器リサイクル、廃棄物の減量化・再資源化、省エネ対策等

Ⅲ設問に対する回答

設問1. 地球環境における森林の存在価値について、次のどちらかを選んで貰った。

- A. 非常に重要である
- B. さほどと思わない

A	54
B	1

Aのその理由としては、次のような意見があった。

- ・ CO₂の吸収、水害の防止等のため
- ・ 人類の存続に関わる問題
- ・ 生態系の保全、大気の浄化、温暖化の防止
- ・ 炭素固定、水資源の維持、海洋の維持、資源、生物環境

設問2. 地球環境上、次ぎのどれが重要であると考えますか？と複数回答を求めた。

- A. 人々の生活様式を変える努力をする
- B. 燃料や材料を、化石燃料から再生可能な他の原料に変えるための研究開発等を急ぐ
- C. CO₂などの地球温暖化ガスの排出を極力抑制する
- D. 下水を整備する
- E. 森林の保全や造成を急ぐ
- F. 大量消費・多量廃棄物型の社会思想に代わる新たなパラダイムの創出
- G. 情報化社会の推進
- H. その他

A	35
B	39
C	48
D	1
E	26
F	40
G	4
H	3

Hの「その他」では、次のような意見があった。

- ・ 漠然とではなく定量的に示す広報活動がまず必要
- ・ 教育

- ・教育
- ・ゼロエミッション等循環型社会システムの創出

設問3. このままでは、地球環境は危機的状況になると考えますか？と回答を求めた。

- A. そう思う
- B. あまりオーバーにすぎる
- C. わからない

A	45
B	2
C	8

Cの「わからない」の回答の中に「危機的状況とはどの程度をいうのか？」というのがあった。

設問4. 地球環境保全上、わが国はどのようなことをするべきかと考えますか？と複数回答を求めた。

- A. 国内対策（国、民間、国民）を充実し、世界のモデルとなる役割を果たす
- B. 国は、民間企業の自主的な環境保全上の努力に助成すべきである
- C. 国は、国内対策と同時に国際協力をより充実すべきである
- D. 企業や団体、市民それぞれの段階で国際的な協力を行うべきである
- E. その他（特記／特記する場合の項目数については制限を設けなかった——以降も同じ）

A	15
B	21
C	18
D	9
E	3

Eの「その他」では、次のような意見があった。

- ・進んだ公害対策技術を海外に供与するための支援制度を国が整備する
- ・国、企業、団体、市民がそれぞれの段階で、着実に環境保全の努力をすべきである
- ・国、国民、企業などがそれぞれの立場で努力

設問5. 地球環境保全上、企業はどのような役割を持つべきかと考えますか？と複数回答を求めた。

- A. まず、企業の製品なりサービスが、地球環境を損なわないものとなるように努力すべきである
- B. 企業には社会責任があり、企業独自の活動をこえる社会的貢献に努力すべきである
- C. 企業活動には一定の制約があり、基本的には国などの公的機関が行う性格のものである

A	47
B	9
C	1
D	2

Dの「その他」では、次のような意見があった。

- ・企業には社会的責任があり、企業活動の与える影響について、まず自らたすべき点をたすべき
- ・事業活動と環境保護を両立させながら社会的責任を果たすべき

設問6. 地球環境保全上、具体的には次のどのことが一番重要と考えますか？と複数回答を求めた。

- A. 水・空気の汚染
- B. ゴミ問題
- C. 地球温暖化
- D. 野生動物の減少
- E. 人口の急増
- F. 森林の減少
- G. 都市への人口の集中
- H. その他（特記）

A	31
B	34
C	43
D	9
E	28
F	27
G	2
H	2

Hの「その他」では、次のひとつの意見があった。

- ・地球環境問題は相互に複雑な関連性があり、その重要性は比較できない

設問7. 海外の熱帯林が急激に減少していることを知っているか？と選択回答を求めた。

- A. よく知っている
- B. おおよそ知っているが、あまり知らない
- C. 知らなかった

A	40
B	14
C	0
無記入	1

設問 8. 熱帯林の減少は、長期的に見れば御社の企業活動と関連がありますか？と選択回答を求めた。

- A. 現地住民の生活状況の悪化、マクロに言えば地球環境の悪化などを通じ関連する
- B. 遠いところの話なので、あまり身近な問題と受けとめていない
- C. 関係がない

A	41
B	7
C	6
その他	1

この設問は、選択回答であったが、Cを選択した企業で次のコメントがあった。

- ・型枠材などに関係があるが、代替材を考える・・・（総合建設業）
また、選択せずに次のコメントを寄せた回答がひとつあった。
- ・紙資源の消費量等に関係がある

設問 9. 熱帯林の保全や植林（造林）に、御社として現在、直接・間接に何か実行されていることがありますか？と回答を求めた。

- A. ある（具体的に教えてください）
- B. ない

A	21
B	33
無記入	1

Aの具体例は次のようなものである。

- ・環境 NGO への支援（寄付等のサポート）
- ・熱帯材を使用した型枠用合板使用の削除、タイ国ナラチワ州に熱帯林観測塔を建設し、タイ国・王立チャイパタナ財団に寄贈した
- ・熱帯雨林材の北洋針葉樹材への切替、高密度集成材の利用拡大
- ・VAN 菌の研究 熱帯の荒廃地での植林、乾燥地の緑化等への応用が可能な VAN 菌の研究
- ・ダム等の斜面（法面）緑化の推進
- ・モンゴルのバイオマス（草地）のモニタリングプロジェクトに参加
- ・吸水性ポリマーによる土壌改良、緑化シート（植物の種子と肥料入）

- ・経団連自然保護基金運営協議会・オイスカ富山支部等に参画
- ・古紙の有効利用、回収、再生紙の利用
- ・公益信託、当社自然・歴史環境基金を通じての支援をマングローブ保全などに。砂漠緑化（ブルキナファソ等）事業等への参画
- ・自然保護団体への助成
- ・熱帯型枠材の使用の抑制
- ・熱帯林を使用せず再生素材を使用
- ・非木材パルプのブランドづくり
- ・木マクラギ代替品の開発
- ・木材の使用削減、リサイクル
- ・建築業協会でも熱帯材型枠を平成4年から5年間に35%削減を申し合わせ、当社も社内でも目標を立て実施している、現在、35%を達成し、さらに削減中である
- ・古紙リサイクル再生紙使用の促進
- ・紙の節約
- ・紙資源の消費を抑制する取り組みを実施している
- ・熱帯材合板使用量の削減

設問 10. 熱帯林の保全に関し、今後なんらかの形で貢献される考えがありますか？と回答を求めた。

- A. 具体的にある（特記）
- B. 具体的にないが、そういう傾向はある
- C. ない

A	10
B	26
C	19

Aの具体策は次のようなものである。

- ・GIF財団での活動を通じて実施している
- ・GPSカメラを使用し、グランドトウルースを世界にアピールする。
- ・VAN菌の研究を通して応用技術の研究をする
- ・WWF Jへの資金的応援。
- ・型枠用熱帯材合板の削減に努める
- ・設問9の活動のハイレベル化（木材の使用削減、リサイクル）
- ・熱帯材を使用した型枠用合板使用の削減
- ・非木材紙使用の促進
- ・現在の取り組みを継続していく
- ・設問9の継続（熱帯材型枠合板の使用削減）

Bの回答の中に、次のコメントをつけたものがあった。

- ・設問 9 の推進（古紙の有効利用、回収、再生紙の利用）
- ・熱帯材合板に対する代替型枠の推進

設問 11. 熱帯林の保全や造成に関して貢献しようとしてもなかなか実行できなかつたり、その気になれない理由は、次ぎのどれでしょうか？と回答を求めた。

- A. 企業活動にとって利点が少ない
- B. 本業と関係が少ない
- C. どういう方法で貢献できるかわからない
- D. どこの国のどこで植林し、そのためにはどことコンタクトすればいいかという具体的なところがわからない
- E. 植林は、時間がかかりすぎてまどろっこしい
- F. その他（特記）

A	6
B	32
C	10
D	5
E	1
F	5
無記入	3

Fの「その他」には、次のようなコメントがあった。

- ・本業での環境負荷軽減を優先したい
- ・「省エネ推進」「フロン漏水防止」といった当社の身近なテーマを重点に活動しています。
- ・社会貢献と本業上のメリットと兼ねた事業として実行できる土壌造り
- ・地球環境問題全体に於ける位置づけをより明確化、具体化することが重要
- ・本業における環境対策をしっかりとやらなければならない。
- ・直接的に熱帯林の保全や造成に関係していないので回答できない

設問 12. 熱帯林の保全や植林（造成）に関し、つぎの事項のうち、どれがあれば企業として貢献する上で（あるいはそのことを検討する上で）有効と考えますか？と回答を求めた。

- A. 政府やその他企業以外からの一定の助成
- B. どの国のどこに、どのような相手国組織を相手にすればよいか、といったことについての十分な情報
- C. 植える樹種、その樹種はどのような特徴をもつか、植栽上どのような特徴をもつか等についての十分な技術情報
- D. 日本国内にオープンかつコミットなしに相談できるところがあること

- E. どのくらいの資金で、どの程度植林できるかについての情報
- F. 貢献の事実を企業のPRとして活用できること
- G. その他（特記）

A	9
B	12
C	10
D	15
E	10
F	9
G	9
無記入	3

Gの「その他」の特記については、次のような回答があった。

- ・ どう困っていて、どう貢献できるのかの情報不足
- ・ CPO3において、森林によるCO₂吸収、及び共同実施が認められること
- ・ 環境保全活動は熱帯林の保全以外にも諸々あり、どの活動に注目するかは各社の施策に関わる。弊社では、森林問題としては工場緑化に取り組んでいる
- ・ 調査業務としてビジネスになれば
- ・ 上記のどれも有効ではないかと思いますが、よく分かりません
- ・ 植林に対する総合的な情報の提供
- ・ 地球環境問題全体に於ける位置づけをより明確化、具体化することが重要
- ・ 直接的に熱帯林の保全や造成に関係していないので回答できない

設問 13. 国際緑化推進センター（JIFPRO）を知っていたか回答を求めた。

- A. まったく知らなかった
- B. 名前だけは知っていた
- C. 知っていた

A	37
B	14
C	4

設問 14. 国際緑化推進センターは、いわゆるNGOのひとつです。NGOについてどう考えますか？と回答を求めた。

- A. NGOは、一般的にいて、有益な存在である
- B. NGOの有益性はとくに認められない（理由　　）
- C. NGOは理念上有益と考えるが実態上に問題がある（問題点　　）

A	46
B	0
C	8
無記入	1

Cの問題点については、次のような意見があった。

- ・全体的なとりまとめが行われておらず、広報活動不足
- ・個々のNGOの活動の整合をとりにくい
- ・運営方法のオープン性
- ・オーバーにはやしたてる
- ・余りにも偏った考え方に基づく活動をする団体もあるため
なお、次のようなコメントもあった。
- ・NGOも多種多様であるため何とも言えない
- ・個々の団体により、有益性に差異があるように感じます
- ・NGOはたくさんあるのでコメント不可

設問 15. NGOの今後の方向性と活動内容についてどう考えますか？と意見を求めた。

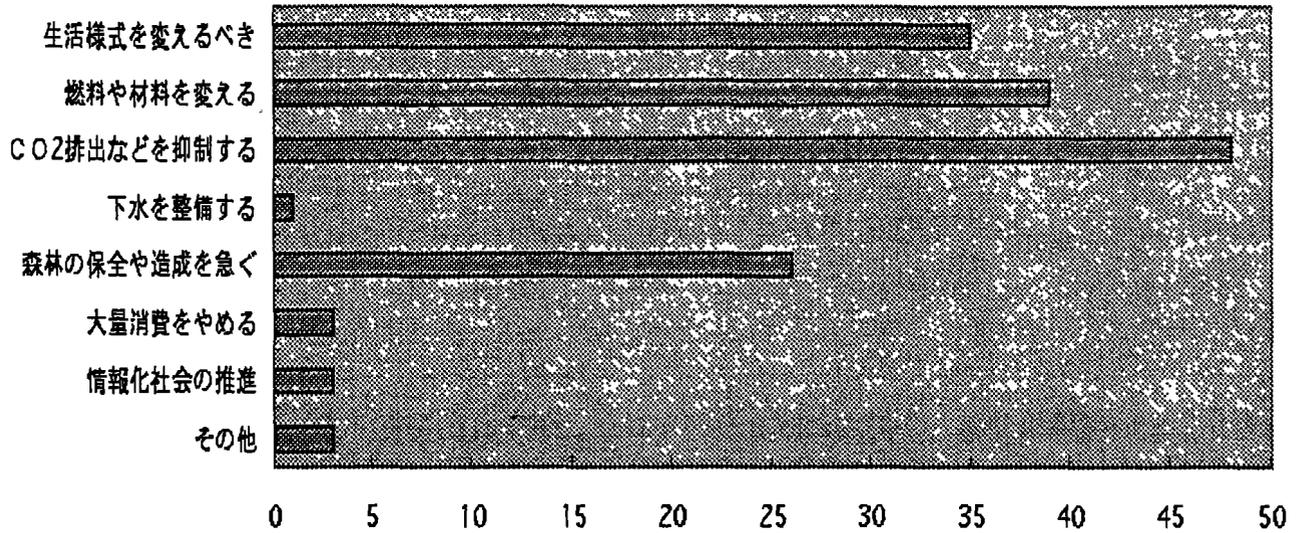
この設問に対しては、「特になし」が2、「無記入」が11。意見は、次の通りである。

- ・日本におけNGOの社会的位置付けを明確にしていく
- ・市民自ら生活を変えるキャンペーンが必要
- ・NGOについては良く分からない、もっとアピールするべきマスコミにはNGOがよく出るが、行動が分かりにくい
- ・NGOは様々なレベルの団体が混在し、企業から見て客観的な判断がしにくい。
- ・PR活動を有効に行うこと
- ・もっといろいろな角度でPRをした方がいいのでは？。
- ・より政府及び企業と近接した活動を行うべきである。
- ・一般市民に、よくわかり易く適正な内容での啓蒙・普及活動を行ってほしい
- ・益々重要となり発展すると思います。
- ・活発化・成果拡大。
- ・企業、市民、国自治体との連携
- ・企業とNGOの協力関係を模索すべき
- ・企業と一般市民との橋渡しとしては重要になっている
- ・企業と手を取り合っていくことによりお互いが有益になればベストだと思います。
- ・企業のみでは、取込が不十分の為行政に働きかけご指導願います。
- ・規制緩和、情報公開新規参入を推進する。
- ・貴機関のように、対象を絞った形の活動がより望ましい（グリーンピースは余りに対象が広い
- ・現地の植林に対する理解を得ること、現地の方は森林が育ったら商品として持って行ってしまわないかという疑念を持っている

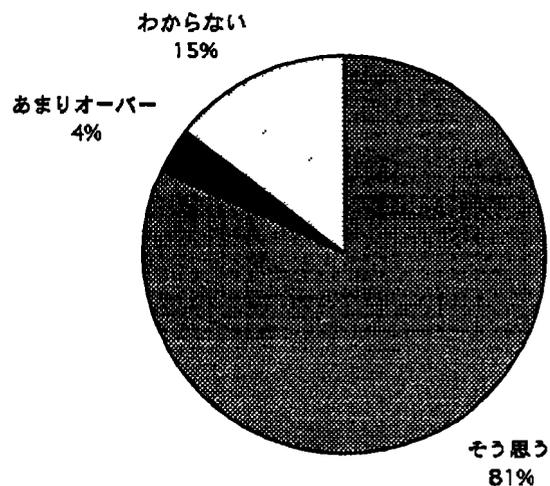
- ・行政が民間とのパートナーシップが必要。又、NGO 同士の共同・協力が大切と思います。
- ・行政と対峙するのではなく、相互強調が望ましい
- ・国や（行政）社会がもっと活動を認めるべきである。
- ・国民の環境保全活動への参加が促進されることに寄与していくと考える
- ・国民の合意の範囲の活断、唯我独尊的行動に陥らないこと。
- ・今後、より一層積極的な活動を希望
- ・今後益々重要性が増すと考える
- ・実行力、検討力等を持った組織活動を期待する
- ・実態がつかめずよくわからない
- ・縦割行政の施策の矛盾点等を第三者の公平な視点から指摘してほしい
- ・政府がNPO 法案を国会通過を計り、特に税制優遇 etc あるいは人材派遣等に於ける企業へのメリット還元が必要
- ・正しい事実にもとづいて行動することが大切
- ・接続可能な経済発展も考慮した現実的な活動を期待したい
- ・組織化も必要
- ・中立公平な機関としての活動がますます重要となってくるものと思われる
- ・同じような活動をするNGO があまりにも多く、それぞれバラバラに動いている。ベクトルを揃える必要があるのでは。
- ・日本では、未だ社会的にその存在・活動を知られていない、社会的理解を得られる地道な活動が必要
- ・日本ではNGO の存在意義及びその認識度は海外に比べるとまだ低いが今後はもっと増えるし、活発化していく、重要性は高まっていくと思われる。
- ・民意を結集できる理念を揚げ、強いオピニオン集団を作り企画・政府・消費者に環境の重要性を具体的に訴求する事。

付録 グラフ

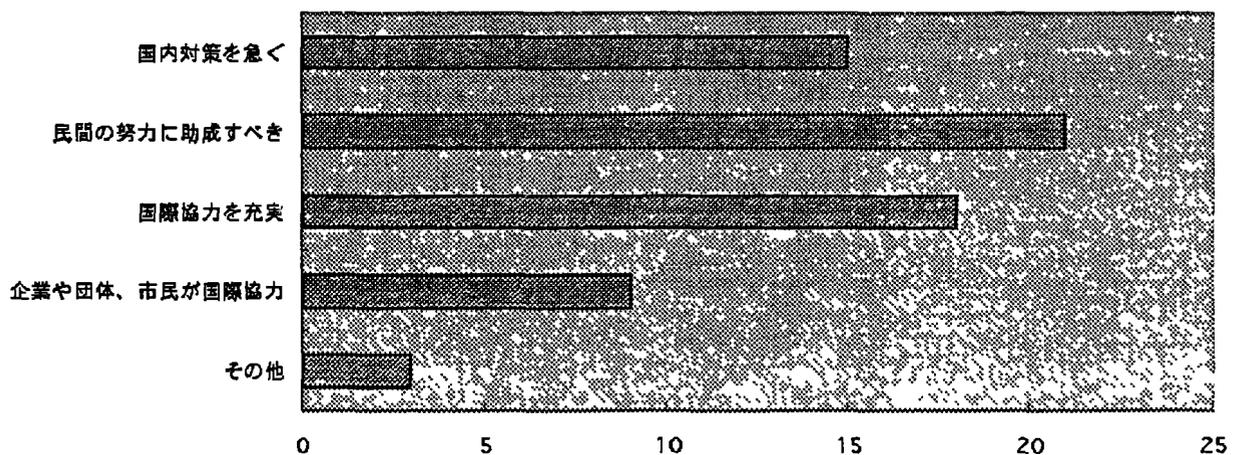
設問2 地球環境上、次ぎのどれが重要と考えるか（複数回答）



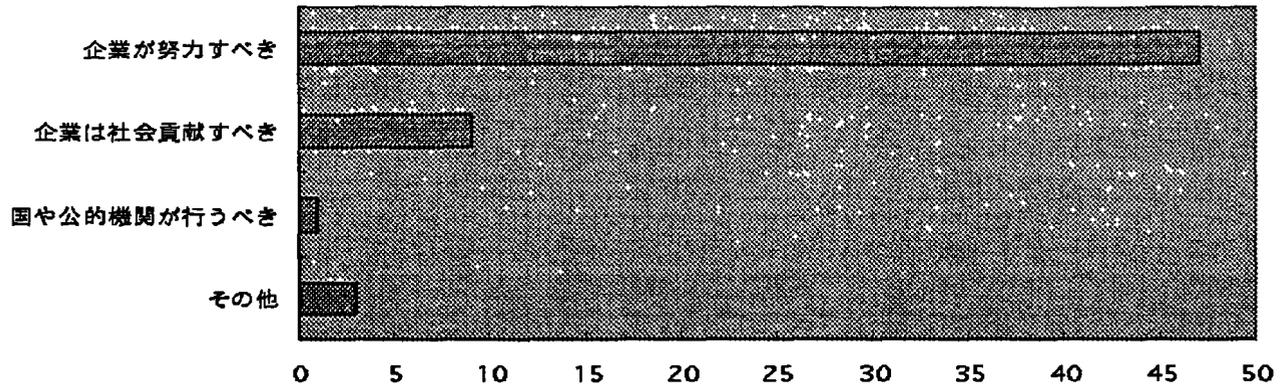
設問3 このままでは、地球環境は危機的状況になると考えますか？



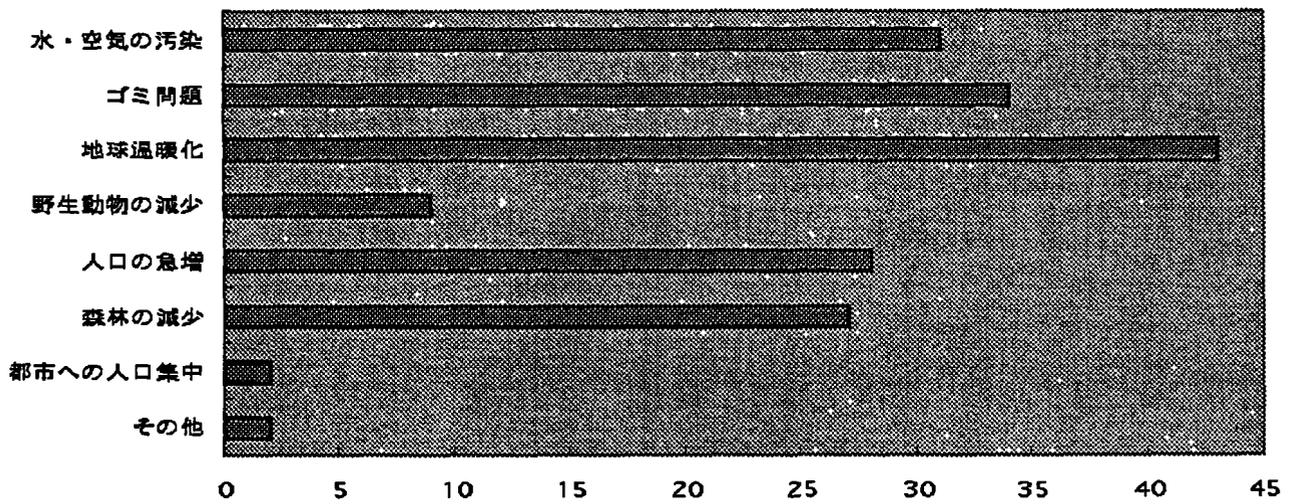
設問4 地球環境保全上、わが国はどのようなことをするべきか



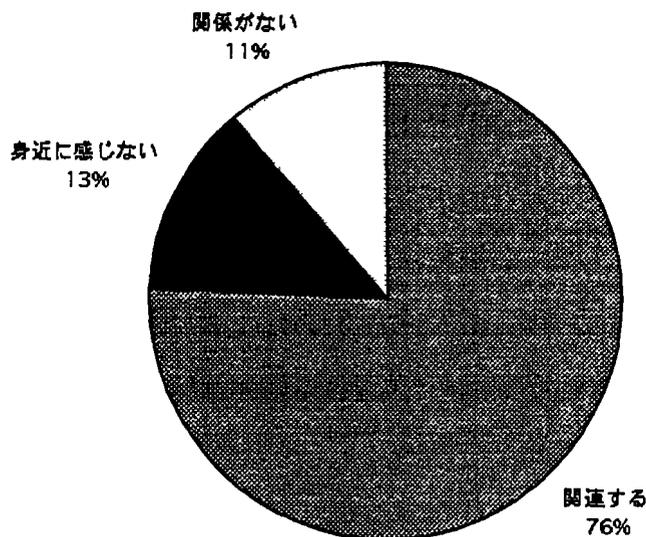
設問5 地球環境上、企業はどんな役割を持つべきか（複数回答）



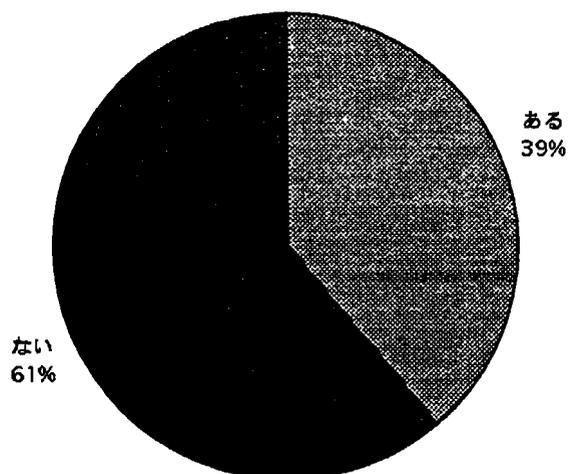
設問6 地球環境保全上、具体的には次ぎのどのことが一番重要と考えるか？（複数回答）



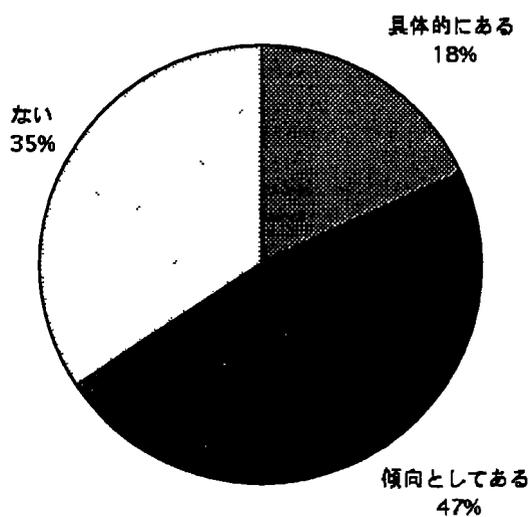
設問8 熱帯林の減少は、長期的にみれば貴社の企業活動と関連がありますか？



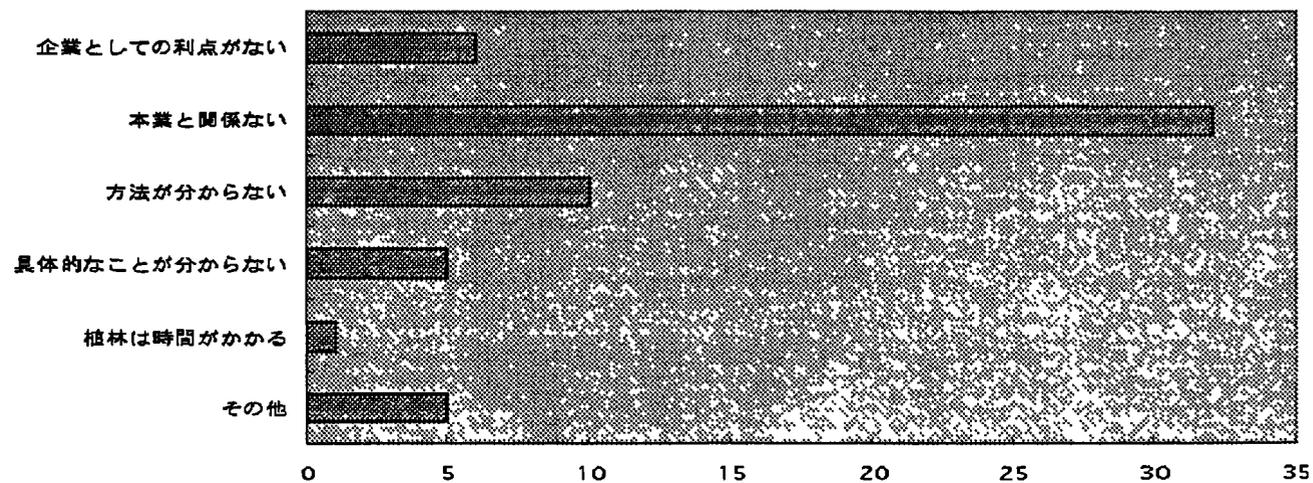
設問9 熱帯林の保全や植林に、貴社は現在、直接・間接何か実行されていることがありますか？



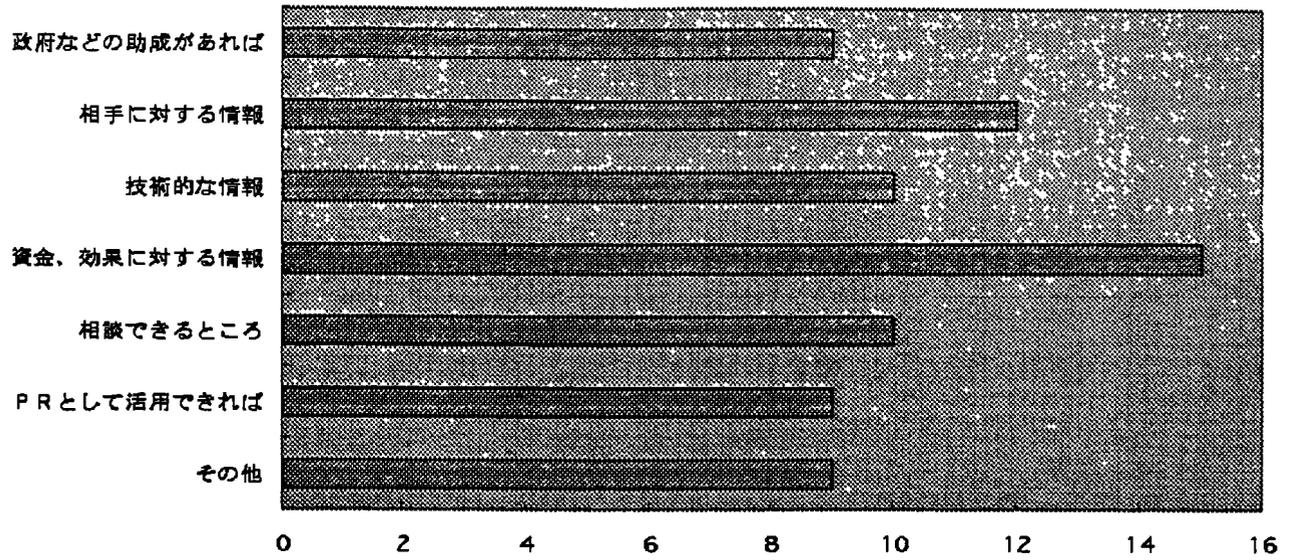
設問10 熱帯林の保全に関して、今後何らかの形で貢献する考えはありますか？



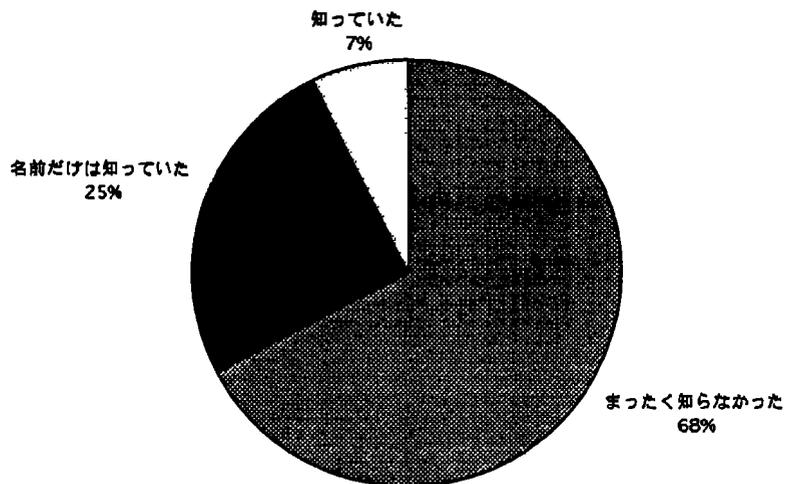
設問11 熱帯林の保全・造成に貢献しようとしても、出来ない理由（複数回答）



設問12 熱帯林の保全や植林に関して、何があれば貢献できるか？



設問13 国際緑化推進センターを知っていましたか？



設問14 NGOをどう考えますか？

